



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

平成26年4月30日

5月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 田中 綾子

啐啄 (そったく)



学校の藤が満開になりました。紫陽花は、花の栄養を蓄えるべく日々緑色の葉を力強く広げています。5月の時候の挨拶である「新緑・青葉」が色とりどりの花の中で一層映える若葉萌えいずる釜利谷南小学校です。近くの新緑ではハクセキレイが巣づくりをしています。

子ども達も新たな気持ちで学級・学年開きを終わりました。

今年も4月8日から3年生～6年生で学年開きに呼ばれ話をしました。それぞれ学年だよりの題名に込められた担任の願いに関連して話をしました。子ども達の輝く目やきちっとした姿勢に、高まりたいという意志が伝わってきます。1年生2年生は授業をしている後姿から頑張る意欲が伝わってきます。できたこと分かったことを喜ぶエネルギーに溢れています。

啐啄(そったく)という言葉があります。「啐」は雛が外に出ようと内側から殻をこつこつ嘴でつつくこと(または鳴き声)。「啄」は親鳥が雛を外に出そうと外側から殻をこつこつ嘴でつつくこと(または音)。親鳥は「啐」を聞き分け、すかさず「啄」する。雛は親鳥の「啄」を聞いてますます「啐」を頑張る。この期を逃すと雛が力尽きてしまうこともあるそうです。もともとは宗教用語でしたが転じて、※①機を得て両者相応ずること②得難いよい時期という意味になりました。※広辞苑

4月に萌えいでた願いや思いがより具体的、着実なめあてや目標になってくる5月です。子ども達は伸びたがっている、向上したがつている、力を発揮したがつている、この気持ちをしっかり受け止め、啐啄で力(知・徳・体)を付けていきます。そのため授業・行事・活動・遊びなどの学校生活を保護者や地域の皆様の協力・協働をいただきながら意図的・計画的・継続的に指導・支援していきます。

各学年だよりの題名とその意味を短く紹介します。

3・4組 『くんくん』

子ども達が先生や友だちや様々なものを栄養にしてぐんぐん成長して行ってほしい。

1年 『はじめのいっぽ』

小学校生活の一步。一人ひとりが頑張ってもらいたい。教師はその頑張る思いを大切にしながら、無理がないか見守り指導・支援していく。

2年 『わくわく』

1年生で身につけたいろいろな力を生かし、さらにわくわくとした豊かな体験を通して着実に伸びて行ってほしい。

3年 『チャレンジ3』 ①チームワーク②思いやり③勇気

活動を通してチームワークを高めたり、思いやりの心を大事にしたり、新しい出会いに勇気をもって取り組みながら、たくさんのことにチャレンジしてほしい。

4年 『トライ、トライ、トライ!!!』

高学年の始まり。仲間と協力しながら進んでいろいろなことに挑戦してほしい。トライしてほしい。

5年 『フリーフライト』～自律飛行 6年生島へ向かって飛ぼう!!～

自分から、自分たちから、やりたいこと・新しいこと・難しいこと・人と違うことに挑戦してほしい。

6年 『BEST』

常にベスト(最善・全力)をつくして、最高の最高学年をめざしてほしい。

「ひびき合う心」にれのきあいさつ

どのように ———— にこにこあいさつ れいぎ正しく のびのび元気に きもちよく
 どのような ———— おはようございます ありがとうございます しつれいします すみません (あおしす運動)
 こんにちは さようなら いただきます おやすみなさい などなど
 だれに ———— 家で家族に 地域で地域の人に、友達に 学校で先生に 友達に 学校に来てくださる人に
 そしてバージョンアップ 気持ちの伝わる返事をしよう はい